



# バッテリー・キット

Workman® MD/MDX 汎用作業車

モデル番号 119-9680

## 取り付け要領

### 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	バッテリー	1	バッテリーを充電する。
2	クイック・アタッチ端子コネクタ	2	バッテリーを取り付けます。
3	必要なパーツはありません。	-	古いバッテリーを取り出します。
4	ブラケット キャリッジ・ボルト ロックナット バッテリー押さえ ボルト ロックナット ワッシャ ナット カバー	1 4 4 1 1 1 2 2 1	新しいバッテリーを取り付けます。

# 1

## バッテリーを充電する

### この作業に必要なパーツ

1	バッテリー
---	-------

### 手順

比重 1.265 のバッテリー液を購入してください。

### ▲ 危険

電解液には触れると火傷を起こす劇薬である硫酸が含まれている。

電解液を飲まないこと。また、電解液を皮膚や目や衣服に付けないよう十分注意すること。安全ゴーグルとゴム手袋で目と手を保護すること。

皮膚に付いた場合にすぐに洗浄できるよう、必ず十分な量の真水を用意しておくこと。

電解液の容器に表示されている取り扱い方法および安全上の注意事項を必ず守ること。

**重要** バッテリーに電解液を入れるときは、必ずバッテリーを車両から降ろして行うこと。電解液が万一、こぼれて車両に触れると各部に激しい腐食が発生する。

1. バッテリー上部を乾燥した汚れのない状態に保つこと。
2. バッテリーの各セルのキャップを外す（図 1）。各セルの電極板が液面下6mm程度に水没するまで、電解液を慎重に入れる。

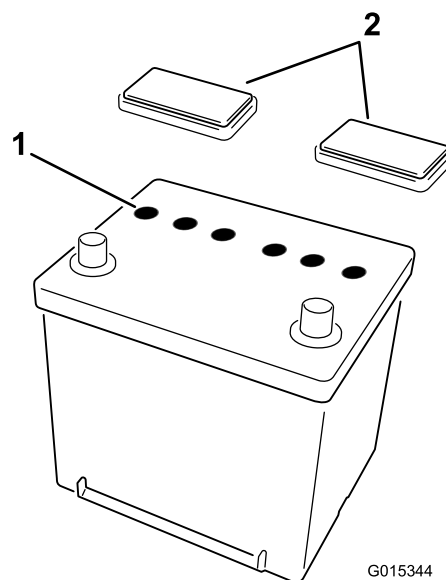


図 1

1. セルの通気口
2. キャップ

3. 電極板が液を吸収するまで20～30分間程度待つ。必要に応じて、電極板が6mm程度水没するぐらいに電解液を補充する（図 1）。
4. 通気キャップを取り付ける。
5. 充電器に接続し、充電電流を3～4Aにセットする（図 2）。3～4Aで充電する。電解液の比重が1.250以上、液温が16℃以上、全部の電極板から泡が出ていれば充電終了である。

### ▲ 警告

充電中は爆発性のガスが発生する。

充電中は絶対禁煙を厳守。バッテリーに火気を近づけないこと。

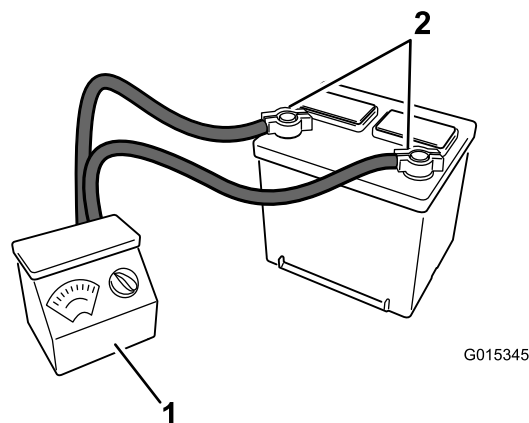


図 2

1. バッテリー・チャージャ
2. チャージャのリード線

6. 充電が終わったらチャージャをコンセントから抜き、チャージャのリード線をバッテリー端子からはずす（図 2）。

**注** 最初の充電以後は、バッテリー液が不足した場合には蒸留水以外補給しないでください。この機械に使用しているバッテリーはメンテナンス・フリーですので、通常は水の補給もほとんど必要ありません。

## 2

### バッテリーを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

2	クイック・アタッチ端子コネクタ
---	-----------------

#### 手順

1. 付属部品の中からクイック・アタッチ端子コネクタを探し出す。コネクタのうちのひとつに簡単な改造を加える必要があります。

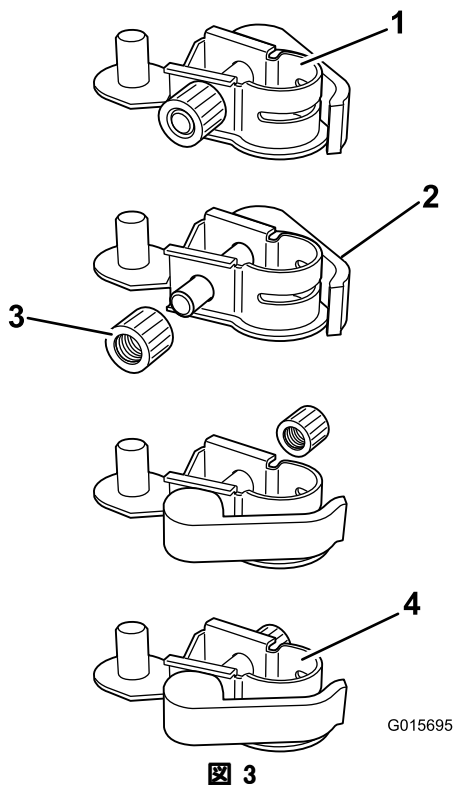


図 3

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. クイック・アタッチ端子(最初の状態) | 3. クランプ・アーム                |
| 2. ジャム・ナット            | 4. クイック・アタッチ端子コネクタ(改造後の状態) |

- ・ コネクタのうちの一方からジャムナットを外す (図 3)。

- ・ コネクタからクランプ・アームを外して反対側に取り付ける (図 3)。
- ・ 先ほど取り外したジャムナットをクランプ・アームに取り付けて、ナットがゆるまない程度に締め付ける (図 3)。

2. クイック・アタッチ・コネクタを、両方とも、それぞれのクランプ・アーム外側を向くようにバッテリーの端子に取り付ける (図 4)。改造していない方のコネクタをバッテリーのプラス端子に接続する。改造したコネクタをバッテリーのマイナス端子に接続する。

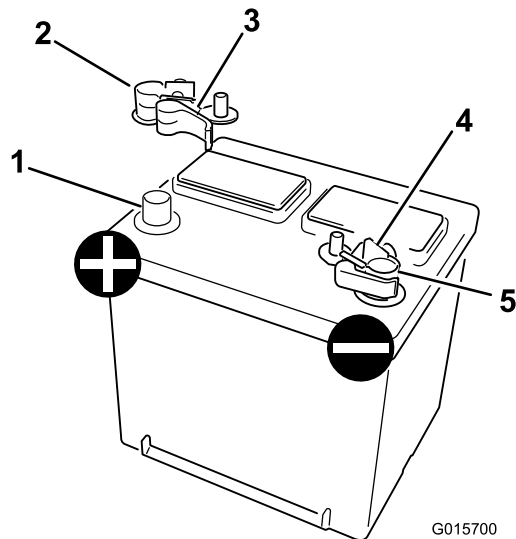


図 4

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. プラス端子          | 4. 改造したクイック・アタッチ・コネクタ |
| 2. クイック・アタッチ・コネクタ | 5. マイナス端子             |
| 3. レバー            |                       |

**注** コネクタがバッテリーにうまく嵌らない場合には、ジャムナットで調整してください。

3. 端子にクランプを取り付ける。レバーを閉じてクランプを端子に固定する。

**注** クランプが適度な力で端子を締め付けていることを確認する。締め付け力がゆるい場合には、ジャム・ナットを右に回して調整する。

# 3

## バッテリーの取り外し

必要なパーツはありません。

### 手順

1. バッテリー・キットを取り付ける車両の荷台を上昇させる。
2. 機体の右側にバッテリーがある。カバーを取り外す。
3. バッテリーの端子からケーブルを外す。詳細については、オペレーターズマニュアルを読むこと。
4. バッテリーとブラケット・アセンブリを車体フレームに固定している締結具を取り外す（図 5）。

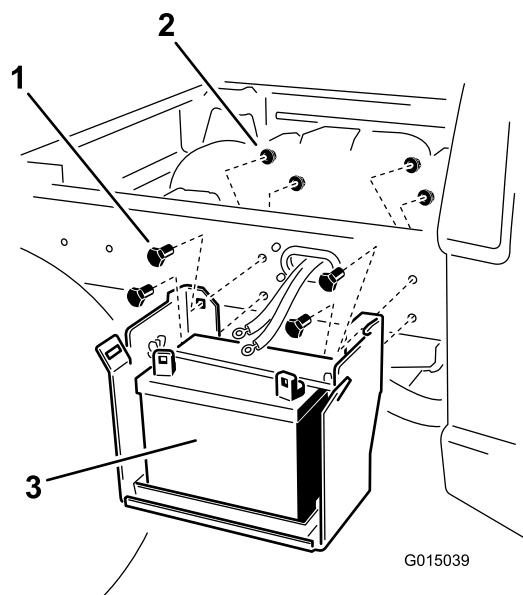


図 5

1. ボルト
2. ロックナット
3. バッテリー・アセンブリとブラケット

# 4

## バッテリーの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ブラケット
4	キャリッジ・ボルト
4	ロックナット
1	バッテリー押さえ
1	ボルト
1	ロックナット
2	ワッシャ
2	ナット
1	カバー

### 手順

1. 車体フレームにバッテリー・ブラケットを取り付ける。キャリッジ・ボルト 4 本とロックナット 4 個でバッテリー・アセンブリを固定する。

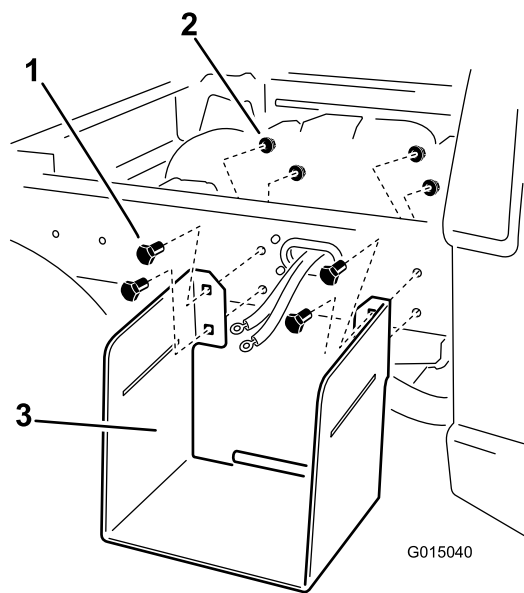


図 6

1. キャリッジ・ボルト
2. ロックナット
3. バッテリー・アセンブリとブラケット

2. バッテリー・アセンブリをブラケットに取り付ける。

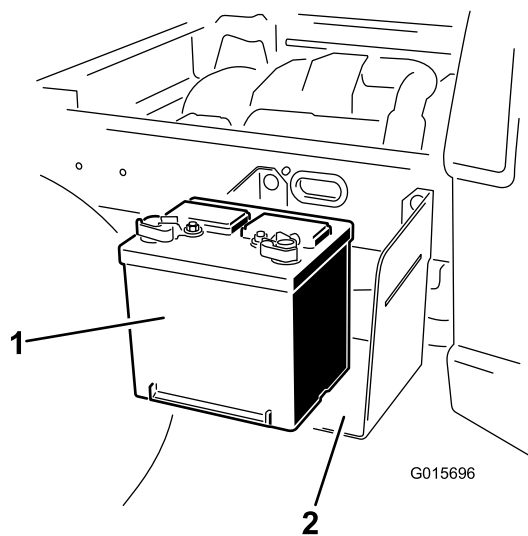


図 7

1. バッテリー                      2. ブラケット

3. 押さえブロック、ボルト、ロックナットでバッテリーを固定する。

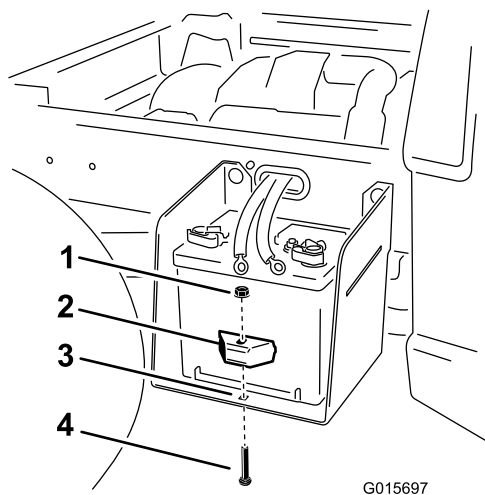


図 8

1. ボルト                              3. バッテリー押さえ  
2. ブラケット                      4. ロックナット

4. バッテリー・ケーブルをバッテリー上のクイック・アタッチ・コネクタの端子部に接続する。まず、赤い (+) ケーブルをバッテリーの (+) 端子に、黒いケーブル (-) はバッテリーの (-) 端子に固定する。ワッシャー 2 枚とナット 2 個でケーブルを固定する。

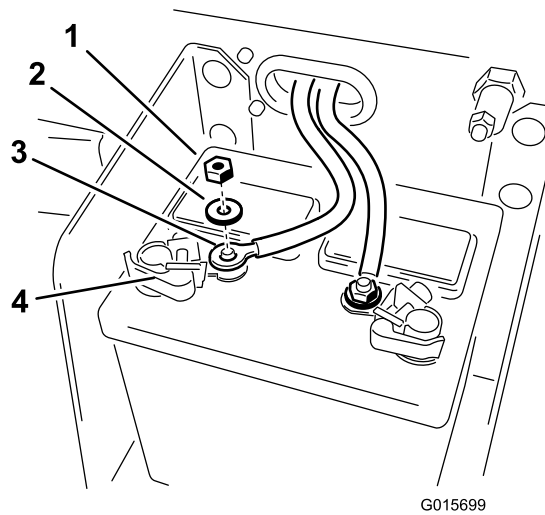


図 9

1. ナット                              3. バッテリー・ケーブルのリード  
2. ワッシャー                      4. クイック・アタッチ・コネクタの端子部

5. カバーを取り付ける。カバーのタブがバッテリー・ブラケットのスロットにきちんと嵌まっていることを確認する。

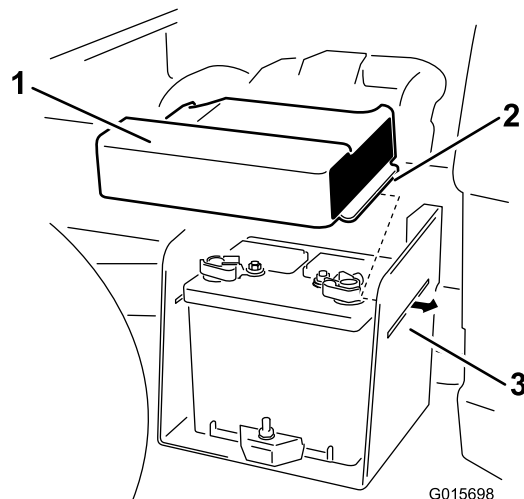


図 10

1. カバー                              3. ブラケットのスロット  
2. タブ

メモ:

メモ:



**Count on it.**